

地域とともにある
学校づくり

えべつ型コミュニティ・スクール

えべつCS通信

江別市教育委員会 教育部 総務課



「えべつ型CS」地域とともにある学校づくり【実践例紹介】

江別市の伝統（教育のまち：オール江別で子どもを育てる）を基盤として、学校・家庭・地域が連携・協力して子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う「えべつ型コミュニティ・スクール」の実践例。今回は、文京台小学校の取り組みを紹介します。

文京台小学校

「給食試食会・CS 漢字検定」 《地域と共に》

文京台小学校の取り組みについては、第5号（平成29年10月発行）で「地域ふれあい交流まつり」の取り組みを紹介しましたが、他にも様々な活動に取り組んでいます。

今年度の取り組みの中から、2点紹介します。

① 給食試食会

学校運営委員の給食試食会を今年度初めて実施しました。文京台小学校の渡辺教頭先生に給食試食会を企画した経緯と参加された学校運営委員の感想などをお聞きしました。

学校運営委員の皆様とお話する中で、「今の子どもたちがどんな給食を食べているのに興味がある。」「ぜひ食べてみたい。」というご意見・ご要望が寄せられましたので、委員に給食を食べていただく機会を設けました。

複数回参加された方もいました。11月25日(月)の試食会に参加していた方から「先日の学芸会の6年生の劇がすごかった。感動した。」という話をいただいたので、担任に伝えたところ、「26日(火)もいらっしゃるのであれば、教室で直接子どもたちに伝えてもらえるとうれしいです。6年教室で一緒に給食を食べてもらいましょう。」ということで、教室で児童と一緒に食べました。かがやき学級（特別支援学級）で児童と食べた方もいます。

「今まで、ずっと食べてみたいと思っていたが、やっと実現した。」「子どもたちと一緒に楽しく食べることができた。」との感想もありました。



特別活動室で



6年教室で

【案内文から一部紹介します。】

1. 期間
令和元年 11 月 22 日（金）～28 日（木）の5日間
※和・洋・中、ごはん・パン・麺とメニューに変化のある5日間です！
2. 集合時刻
12 時頃までにご来校ください。
3. 費用
1 食 274 円（当日、現金にてお支払いください。）
4. 申し込み方法
献立表をご覧の上、希望する日（22・25・26・27・28 日）を事務局 教頭までお電話にてご連絡ください。

25(月)	ごはん もやしと油揚げの みそ汁 鶏肉のごま照り焼き 豚肉とこんにゃくの 炒め煮
26(火)	五目うどん

献立表の一部

②CS漢字検定

今年度、CSの新たな取り組みとして、「漢字検定」(日本漢字能力検定協会)を10月26日(土)に実施しました。

児童の学習意欲や学力の向上のお手伝いとして企画したもので、地域住民(保護者)の方2名と1年生から6年生までの児童23名がチャレンジしました。

試験時間が、10級から8級が40分、それ以上の級は1時間となるため、試験会場を二つの教室に分けて実施しました。

試験官は、学校運営委員の方に務めていただきました。お手伝いいただいた学校運営委員から「子どものあきらめずにがんばる姿を見ることができた。」「質問されても、答えやヒントを出すわけにもいかず困った(笑)。」などの感想をいただきました。



研修の取り組み



文京台小学校では、委員研修の取り組みとして、昨年度は、10月に開催された「全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三笠」に6名が参加しました。今年度は、学校運営委員から「近くで特徴的な取り組みを行っている学校での視察研修を」との要望があり、10月21日(月)、6名で恵庭市立柏小学校を視察してきました。

当日は、奥寺柏小教頭先生から説明を受けました。柏小は、恵庭市の通学合宿※1の発祥の地であり、地域住民の関心が高い地域であること。平成29年に市内で初めてCSが導入※2されたが、前年度に道教委のCSアドバイザーを招いて研修会を開催し、「決して無理をしないことが成功の秘訣である」との助言をいただいて、「地域の子どもは地域で育てる」をモットーに活動を進めてきたこと。現在の学校運営協議会(江別市は学校運営委員会)は、7町内会の代表やPTA、幼稚園長、中学校長等によって構成されており、今年度から14名※3に増員したこと。地域の方々が来校しやすい環境を作るために、コミュニティ・ルームを開設したことや今年度から始めたCS夏季学習会の様子を紹介していただきました。



奥寺教頭先生による説明



CS委員の紹介掲示板

終了後は、CSの取り組みに関わる場所ということで、玄関前廊下掲示板に作成したCS委員の紹介掲示板や、整備され利用可能となった中庭なども見せていただきました。

※1「通学合宿」とは、地域の異年齢の子どもたちが1週間程度の期間、公民館等に寝泊まりし、炊事や掃除、身の回りのことを自分たちで行いながら平常日に通学する体験学習のことです。

※2 恵庭市では、平成29年の柏小に続いて、平成30年には若草小と柏陽中に導入し、今年度、恵庭中、恵庭小、松恵小に導入しています。今後、全校に順次導入するとのこと。

※3「恵庭市立学校における学校運営協議会に関する規則」第8条では、「協議会の委員は30人以内とし、・・・」となっています。

江別市の規則では、「委員会の委員は、10人以内」となっています。